

エコアクション21

2024(令和6年)年度 環境経営レポート



- ☐ 環境経営方針
- ☐ 実施体制図と役割権限表
- ☐ 事業・組織の概要
- ☐ 生産工程フロー図
- ☐ 中期環境目標(2025年度～2027年度)
- ☐ 2024年度取組計画
- ☐ 2024年度環境活動の実施状況とその評価
- ☐ 取組の評価
- ☐ 2025年度の取組
- ☐ 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無
- ☐ 代表者による全体の評価
- ☐ 社会貢献活動等

株式会社 野尻金属

作成日：2025年4月30日

□環境経営方針

基本理念

野尻金属は、資源の循環を通して、より良い未来をつくるため、経済と環境の調和を目指す、持続可能な社会の実現に貢献する。

当社は創業以来、非鉄金属のリサイクルメーカーとして、溶解処理・粉碎処理の技術を活かし、資源の有効利用や資源循環に貢献しています。

当社のリサイクル製品やサービスそのものが、社会から要請されている循環型社会の構築に寄与しているという認識を新たにし、今後も更なるリサイクル事業の推進を目指すと同時に、環境負荷の低減に取り組む活動や、社会や自然との共生を通して、持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

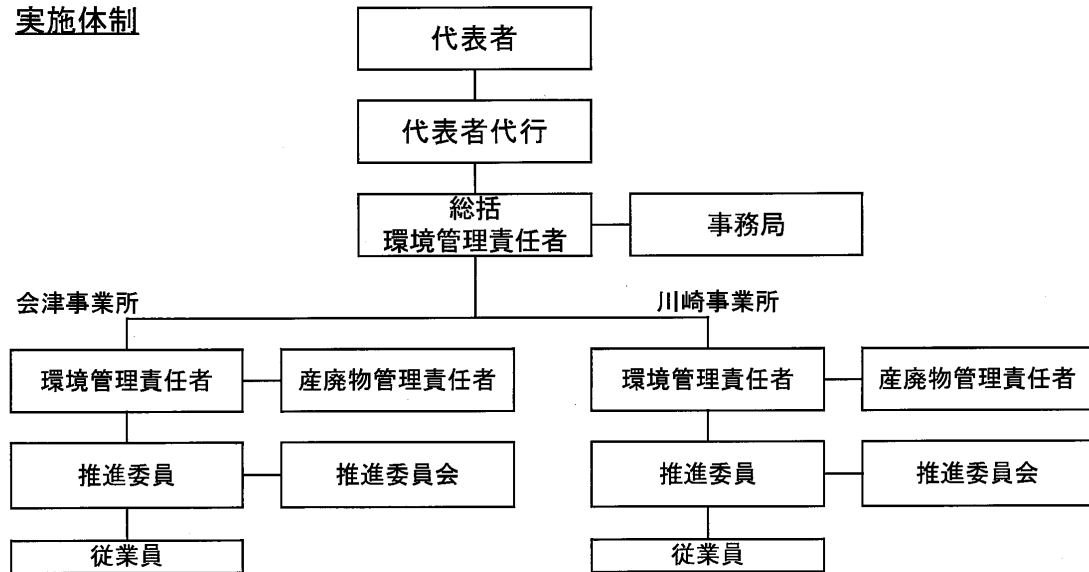
- 1 環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売の推進により、お客さまのリサイクルやグリーン調達に貢献する。
- 2 事業活動における無駄を削減し、生産性を高めることで、資源・エネルギーを効率的に活用し、環境負荷の低減に取り組む。
- 3 当社に適用される環境関連法規等を遵守する。
- 4 環境目標及び計画を策定し、達成のための取り組みを実施する。
また、この活動内容を定期的に評価して、継続的な改善を図る。

2007 年 3 月 1 日制定
2021 年 3 月 1 日改定

株式会社 野尻金属
代表取締役社長 野尻 勝志

実施体制図・役割権限表

実施体制



当社のEA21活動を推進するために下記の組織を定めました。(2022年3月21日改定)

役割権限表

役割	責任及び権限
代表者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な資源を準備 - 環境管理責任者等、必要な責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し、周知 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 経営に於ける課題とチャンスの整理
代表者代行	代表者の補佐及び川崎事業所の代表者
総括環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境活動の取組結果を代表者及び代表者代行へ報告
事務局	- 総括環境管理責任者及び環境管理責任者の補佐 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開
環境管理責任者	各事業所の環境経営システムの構築、実施、管理
産業廃棄物管理責任者	- 産業廃棄物の排出抑制、再資源化及び減量化の企画検討 - 産業廃棄物の処理基準、保管基準の遵守、管理 - 処分方法の検討、処理委託先の選定、委託契約書の締結等 - マニフェストの交付、回収、保管、管理、行政への報告
推進委員	- 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知 - 自部門の環境目標及び取組計画の達成、実績の把握
全従業員	- 自部門の教育・訓練の実施 - 自部門に関連する法規制等を遵守 - 自部門に必要な手順書の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 - 自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練の実施
推進委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価 - 問題点の審議と解決案を立案 - 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施

□事業・組織の概要

(1)会社名・代表者名

株式会社野尻金属 代表取締役社長 野尻 勝志

(2)所在地

本社（会津事業所） 福島県大沼郡会津美里町字宮里 21 番地(2020.05.01 変更)
川崎事業所 神奈川県川崎市川崎区浅野町 6 番 4 号

(3)創業 1972年9月7日

(4)資本金 4,400万円

(5)事業内容 非鉄金属の精錬、加工、販売及びリサイクル

(6)総括環境管理責任者 高橋 裕一

(7)担当者連絡先(環境管理責任者)

会津事業所 高橋 裕一

TEL 0242-85-6133

川崎事業所 徳田 秀之

TEL 044-333-1105

(8)事業の規模(2024 年度)

年商 60 億円

主要製品生産量 8,968 t

	従業員	敷地面積	床面積
会津事業所	41 名	22,118.92 m ²	7,827.69 m ²
川崎事業所	11 名	729.06 m ²	536.96 m ²
合計	52 名	22,847.98 m ²	8,364.65 m ²

本社（会津事業所）



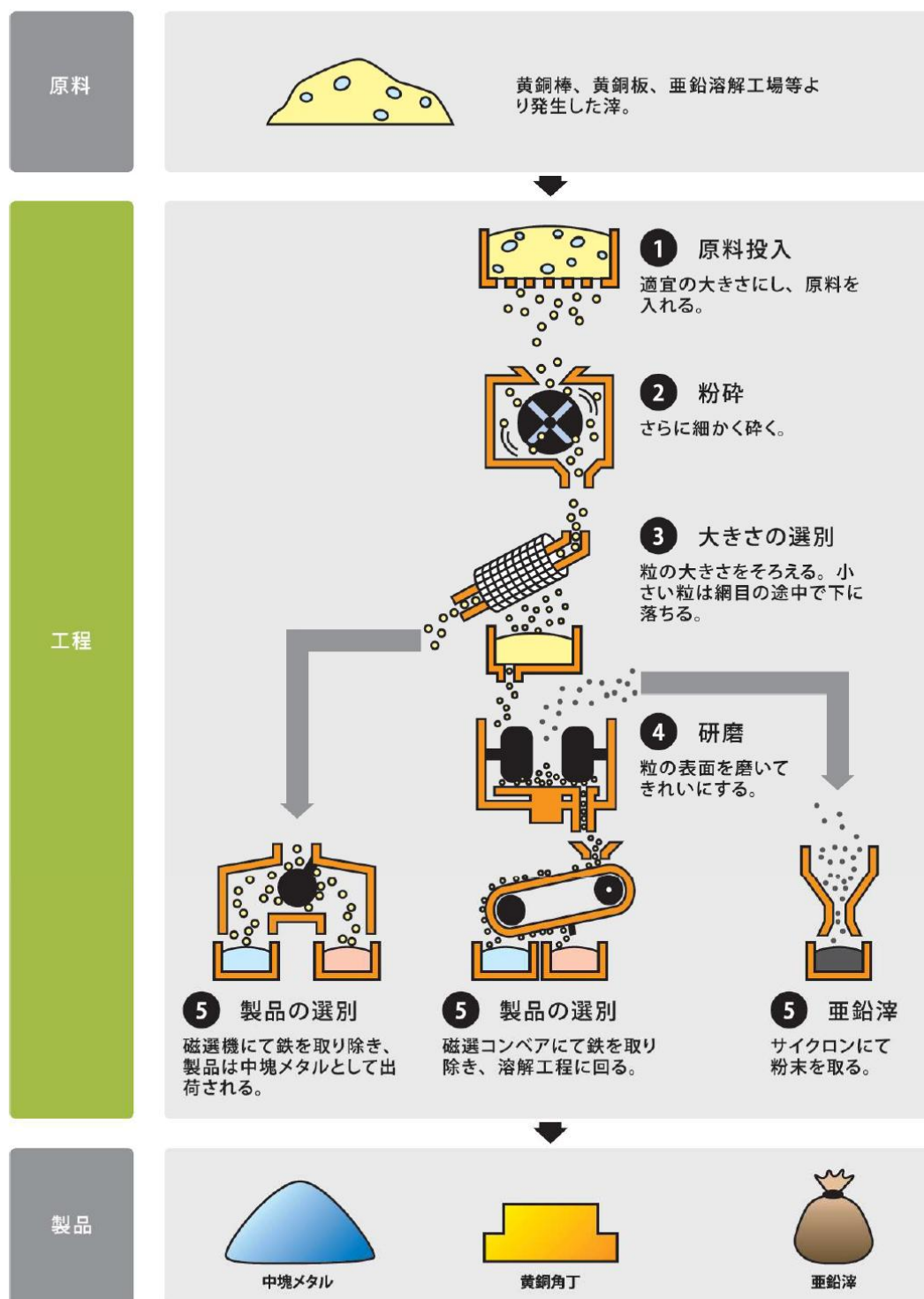
川崎事業所



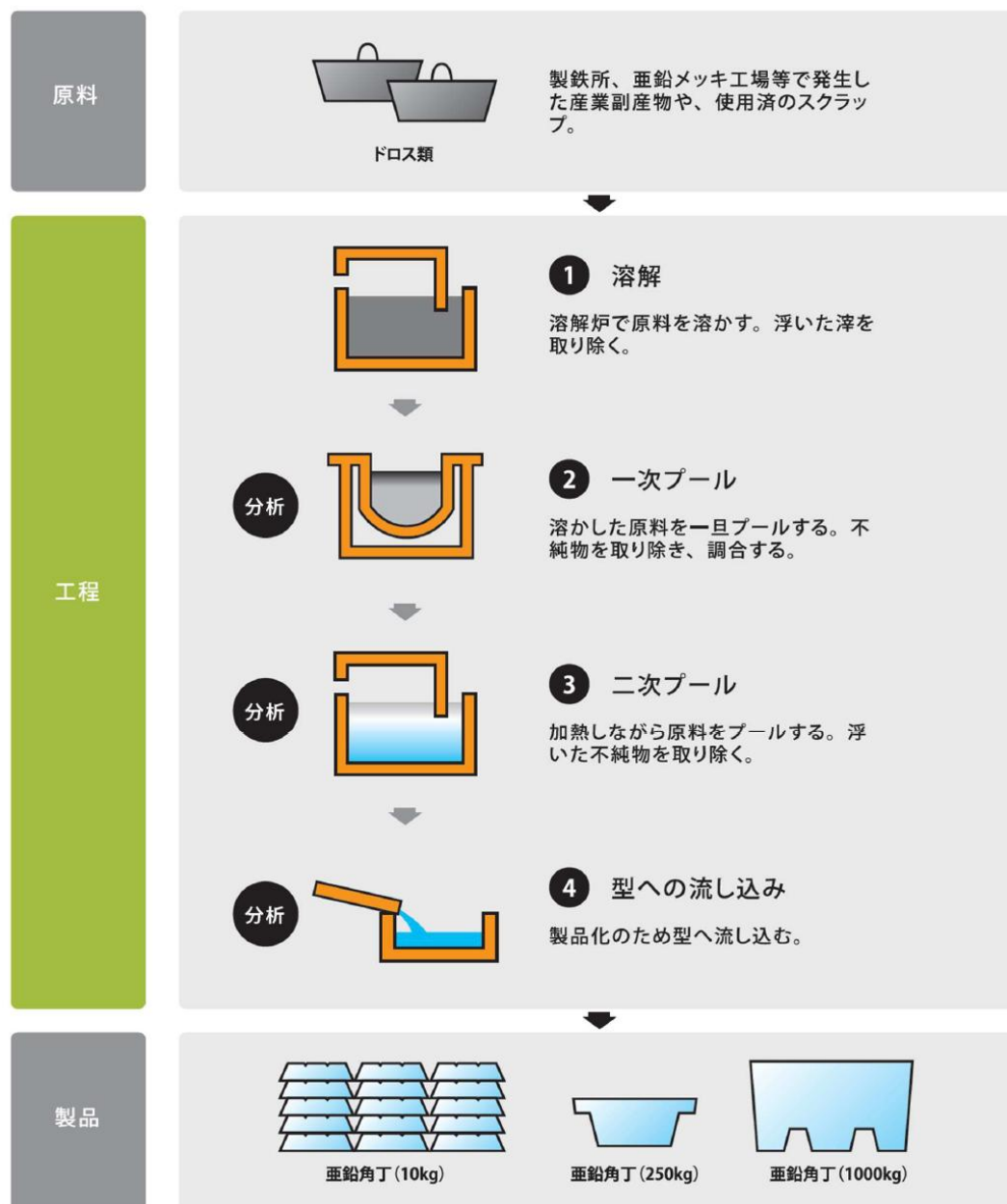
*レポートの対象期間は 2024(令和 6 年)3 月 1 日～2025(令和 7 年)2 月 28 日になります。

□生産工程フロー図

粉碎工程：



溶解工程：



□中期環境目標(2025～2027 年度)

作成日 2025 年 3 月 31 日

環境目標項目	単位	2024年度(基準年度)		2025年度		2026年度		2027年度	
		事業所	基準値	目標値	基準値比	目標値	基準値比	目標値	基準値比
低環境負荷製品	t	全体	11,203	11,315	101%	11,427	102%	11,539	103%
		会津	8,957	9,047		9,136		9,226	
		川崎	2,246	2,268		2,291		2,313	
二酸化炭素	t	全体	915	906	99%	897	98%	888	97%
		会津	616	610		604		598	
		川崎	299	296		293		290	
上水	m3	全体	1,174	1,174	100%	1,174	100%	1,174	100%
		会津	761	761		761		761	
		川崎	413	413		413		413	
一般廃棄物	kg	全体	2,092	2,092	100%	2,092	100%	2,092	100%
		会津	1,096	1,096		1,096		1,096	
		川崎	996	996		996		996	
産業廃棄物(中間処理)	kg	全体	95,683	95,683	100%	95,683	100%	95,683	100%
		会津	71,210	71,210		71,210		71,210	
		川崎	24,473	24,473		24,473		24,473	
産業廃棄物(最終処分)	kg	全体	7,910	7,910	100%	7,910	100%	7,910	100%
		会津	7,910	7,910		7,910		7,910	
		川崎	0	0		0		0	

備考

- ・昨年度実績値を基準値（目標値）として設定し、毎年見直しを行う。
- ・事業所ごとの環境負荷の管理値は、総量を使用する。
- ・設備ごとの環境負荷の管理値は、原料原単位を使用する。
- ・電力排出係数は、会津事業所は東北電力 CO2 フリー電力 0kg-CO2/kwh
川崎事業所は東京電力エナジーパートナー 0.408kg-CO2/kwh (2024 年度調整後排出係数) を使用する。
- ・その他の排出係数については、「環境への負荷の自己チェック表 ver.1.0」に準ずる。
- ・「化学物質使用量の削減」については、ニッケルと鉛は原料に含まれているため削減目標は設定せずに、その含有量は「環境への負荷の自己チェック表 ver.1.0」に記載する。
- ・会津事業所 第三工場バルクガスは、カーボンニュートラル LP ガス使用のため排出係数は 0kg-CO2/kg とする。

■2024 年度取組計画

2024 年度において、以下の取り組みを進めて参りました。

[illegible]

□2024 年度環境活動の実施状況とその評価

管理項目	単位	2024年度目標		2024度実績			2023度実績	2022度実績
		事業所	目標値	実績値	年度比(%)	評価	実績値	実績値
低環境負荷製品	t	全体	12,728	11,203	88.0	△	12,602	13,069
		会津	10,477	8,957	85.5	△	10,373	10,816
		川崎	2,251	2,246	99.8	△	2,229	2,253
二酸化炭素	t	全体	1,125	915	81.3	○	1,140	1,447
		会津	788	616	78.2	◎	799	1,103
		川崎	337	299	88.7	○	340	344
上水	m	全体	1,191	1,174	98.6	○	1,191	1,227
		会津	890	761	85.5	○	890	989
		川崎	301	413	137.2	×	301	238
一般廃棄物	kg	全体	2,177	2,092	96.1	○	2,177	2,314
		会津	1,181	1,096	92.8	○	1,181	1,318
		川崎	996	996	100.0	△	996	996
産業廃棄物 (中間処理)	kg	全体	94,576	95,683	101.2	△	94,576	96,337
		会津	77,990	71,210	91.3	○	77,990	77,920
		川崎	16,586	24,473	147.6	×	16,586	18,417
産業廃棄物 (最終処分)	kg	全体	12,170	7,910	65.0	◎	12,170	14,360
		会津	12,170	7,910	65.0	◎	12,170	14,360
		川崎	0	0	-	◎	0	0

低環境負荷製品	120%以上	120%未満100%以上	100%未満80%以上	80%未満
数値評価	◎	○	△	×
環境負荷項目	80%未満	80%以上100%未満	100%以上120%未満	120%以上

□取組の評価

管理項目	会津事業所	川崎事業所
低環境負荷製品	前年に続き業界全体の冷え込みにより、販売量低下により年間目標に対し未達成でした。顧客からの情報収集や新規案件の獲得など取り組んでください。	ここ何年か大きな変動がない安定した実績数値ではありますが、年間目標に対しては未達成です。顧客からの情報収集を進め新規案件獲得など取り組んでください。
二酸化炭素	2024 年から第 3 工場で使用しているバルクガスをカーボンニュートラル LP ガスに切替え、実質 CO2 排出量の削減に貢献した。また、生産量低下によるエネルギー使用量低下も相まって年間目標達成でしたが、効率の良い生産と構内物流を推進してください。	生産量低下によるエネルギー使用量低下もありますが、稼働の少ないトラック 1 台処分や実質 CO2 排出量削減のための取り組みが実施され、年間目標に対し大きく達成でした。継続して効率の良い生産を推進してください。
上水	毎月の全社員に向けた注意喚起のメールと、使用量削減の取り組みが効果を上げ、年間目標に対し大きく達成でした。来期も熱心な取り組みを継続してください。	上水を多く使用する製品の生産量増加に伴い、年間目標に対して未達成でした。製品の冷却方法の見直しや、雨水の再利用などを検討してください。
一般廃棄物	毎月の全社員に向けた注意喚起のメールや、3R の推進などの取り組みが効果を上げ、年間目標に対し達成でした。来期は食後の生ごみ廃棄が少しでも減るような取り組みを推進してください。	社員の 3R や分別の意識が定着し、安定的に年間目標に対して達成です。来期も継続してください。
産業廃棄物	耐火物更新工事が少なかったことから、年間目標に対して達成です。設備を大切に扱うことは勿論のこと、耐火物の施工方法の再考を進め長寿命化に取り組んでください。	今期は、年間目標に対し未達成でした。来期も取引先の発生状況により数値に違いがあるが、引き続き分別徹底に心掛けて活動推進してください。

□2025 年度の取組

管理項目	会津事業所	川崎事業所
低環境負荷製品	環境負荷物質を含まないリサイクル原料の仕入・販売量の増量 既存顧客フォロー 新規案件の獲得	
二酸化炭素	購入電力量の削減 節電意識の向上の継続 エアコン温度管理の徹底の継続 圧縮空気の漏れ根絶 各集塵機インバーターの活用の継続 グリーン電力契約実施 太陽光発電の自家消費 各設備の標準作業の実施 LPG使用量の削減 生産性向上の継続 各炉の温度管理と制御の徹底 設備蓄熱の活用の継続 各設備余熱の最適化 点検による漏れ根絶 給湯器の温度見直&使用期間 カーボンニュートラルLPガス契約 軽油使用量の削減 エコドライブ運転の継続 過積載の防止と運搬方法の最適化の継続 アイドリングストップの励行 制限速度の遵守の継続 融雪水の効率的利用の継続	購入電力量の削減 節電の継続 圧縮空気の漏れ根絶 集塵機,コンプレッサー、コンベヤの適切なオン・オフの継続 都市ガス使用量の削減 生産性の向上の継続 温度管理の継続 不良削減 坩堝炉のタイマー管理の継続 軽油・ガソリン使用量の削減 エコ運転の実施の継続 走行距離走行時間の削減 過積載の禁止(トラック) 適正な積載量の運搬(トラック)
上水	節水の呼びかけの継続 まとめ洗いの継続 節水型シャワーヘッド導入 給水圧減の取組 漏水の定期点検の実施	漏水箇所の改善 節水の呼びかけの継続
廃棄物 一般	資源回収の徹底の継続 減量化の取組継続 分別徹底の継続	一般ゴミと売却品の分別の継続 裏紙の使用によるゴミ削減の継続
廃棄物 産業	パレットの返却・再利用促進の継続 保管場所適正管理の継続 耐火物施工方法の再考	分別の徹底の継続 可能な限り圧縮し減容

□2024 年度 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

遵守状況については、環境管理責任者において統括しており、環境関連法規の遵守に努めています。今年度、各事項の法遵守状況を整理した結果、環境関連法規に関する違反等はありませんでした。また、関連機関や地域からの指摘・苦情もありませんでした。

該当法規名称		法的要求項目、適用を受ける要件	点検・測定時期 報告時期	遵守状況
大気汚染防止法	福島県生活環境の保全等に関する条例	(ばい)煙排出基準の遵守 定期測定	(ばい)煙量及び濃度等を年2回測定(4月、10月) 記録を3年間保有	遵守
騒音規制法		工場等騒音規制基準の遵守	境界騒音自主測定 4月、10月 (7～19 60デシベル、6～7・19～22 55デシベル、22～6 50デシベル)	遵守
フロン排出抑制法		業務用エアコン、冷蔵庫等の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 引取証明書による回収・破壊工程の確認	簡易点検(1月、4月、7月、10月)	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)		廃棄物の委託基準遵守	許可証有効期限の確認	遵守
		管理票の交付	発生都度	遵守
		管理票交付状況の報告	6月	遵守
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)		特定化学物質の排出量及び移動量の把握 鉛、ニッケル	6月末まで	遵守
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	福島県化学物質適正管理指針	特定化学物質の排出量及び移動量の把握 年間0.1t以上に報告義務	1月末まで	遵守

□代表者による全体の評価

昨年度に引き続き生産量・販売量が減少傾向にあり、相対的にほぼすべての項目で目標達成となった。

その中でも、会津事業所では計画的な休暇取得の推進による生産管理と生産性向上を図った事や一部 CO2 フリーの LPG の導入。川崎事業所では、毎月のミーティングによる活発な意見交換や取り組み意識の向上を図った事やトラック 1 台売却など思い切った取り組みなど、両事業所共に活発な活動ができたことを評価したい。

今年度も活発な活動を進めるとともに、課題として残ったプロセスシートや力量評価表兼キャリアパス作成は引き続き計画を立てて実行して行ってほしい。



2025 年 4 月 29 日

代表取締役社長
野尻 勝志

□社会貢献活動等

カーボン・オフセット

毎年同社が排出する CO2 のカーボン・オフセットしました。

今年度、

CO2 4 トン 新潟県津南町

CO2 6 トン 北海道下川町

また、同上企業の活動に賛同し、環境維持のために支援しています。



グリーンサイトライセンスの登録

グリーンサイトライセンスとは、環境貢献活動と、サイトでの環境貢献のPRが結びついたサービスで、企業や消費者が環境保護を身近に感じる機会を提供しています。

当社は 2013 年 4 月 25 日に登録し、継続してモンゴルでの植林を支援しています。

また、当社のホームページ上に証明書を設置しPRに利用しています。



工場周辺の環境美化

日 時：2024 年 7 月 5 日(ゴミ拾い・草むしり)・11 月 1 日（ゴミ拾い）

場 所：会津工場周辺

